

第 2 号議案	令和 4 年度決算報告	資料— 2
第 3 号議案	令和 4 年度監査報告書	資料— 3

次のページ以降に下の資料をお示しいたします。

- ・ 貸借対照表
- ・ 正味財産増減計算書
- ・ 監査報告書

## 令和4年度決算報告

法人名：一般社団法人 M-EMS 認証機構			
貸借対照表			
令和 5年 3月 31日 現在			
			(単位：円)
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	15,300,925	11,732,207	3,568,718
未収金	908,550	909,300	△ 750
前払費用	227,000	227,000	0
短期貸付金	300,000	300,000	0
流動資産合計	16,736,475	13,168,507	3,567,968
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
建物	764,325	824,625	△ 60,300
什器備品	2	2	0
保証金	200,000	200,000	0
その他固定資産合計	964,327	1,024,627	△ 60,300
固定資産合計	964,327	1,024,627	△ 60,300
資産合計	17,700,802	14,193,134	3,507,668
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	298,206	55,646	242,560
未払法人税等	72,000	72,000	0
未払消費税等	555,200	1,091,900	△ 536,700
前受金	562,020	358,250	203,770
預り金	66,854	142,745	△ 75,891
流動負債合計	1,554,280	1,720,541	△ 166,261
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,200,000	1,200,000	0
固定負債合計	1,200,000	1,200,000	0
負債合計	2,754,280	2,920,541	△ 166,261
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	14,946,522	11,272,593	3,673,929
正味財産合計	14,946,522	11,272,593	3,673,929
負債及び正味財産合計	17,700,802	14,193,134	3,507,668

法人名：一般社団法人 M-EMS 認証機構			
正味財産増減計算書			
令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで			
			(単位：円)
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	80,000	90,000	△ 10,000
事業収益			
コンサルティング収入	1,308,000	884,000	424,000
審査収入	19,474,654	19,639,300	△ 164,646
講座収入	455,000	195,000	260,000
その他収入	454,004	281,828	172,176
事業収益計	21,691,658	21,000,128	691,530
雑収益			
受取利息	118	100	18
雑収益	274	300,096	△ 299,822
雑収益計	392	300,196	△ 299,804
経常収益計	21,772,050	21,390,324	381,726
(2) 経常費用			
事業費			
報償費	5,146,184	4,791,453	354,731
給料手当	2,449,218	4,037,423	△ 1,588,205
法定福利費	0	618,361	△ 618,361
役員報酬	2,874,000	2,572,500	301,500
福利厚生費	0	23,539	△ 23,539
旅費交通費	578,723	668,865	△ 90,142
通信運搬費	423,848	692,166	△ 268,318
消耗什器備品費	6,100	0	6,100
消耗品費	362,958	247,485	115,473
印刷製本費	187,100	75,500	111,600
光熱水料費	178,079	207,286	△ 29,207
賃借料	1,472,892	1,802,888	△ 329,996
保険料	0	31,478	△ 31,478
租税公課	2,000	0	2,000
広告宣伝費	91,000	0	91,000
支払手数料	49,800	62,700	△ 12,900
接待交際費	4,300	0	4,300
審査員維持研修費	34,610	13,173	21,437
雑費	460,606	871,882	△ 411,276
事業費計	14,321,418	16,716,699	△ 2,395,281
管理費			
役員報酬	958,000	857,500	100,500
給料手当	816,406	1,345,808	△ 529,402
法定福利費	63,186	206,120	△ 142,934
退職給付費用	0	680,000	△ 680,000
役員退職慰労金	0	100,000	△ 100,000
福利厚生費	95,653	7,846	87,807
会議費	8,436	18,169	△ 9,733
交際費	53,254	0	53,254
旅費交通費	243,792	216,021	27,771
通信運搬費	0	13,353	△ 13,353
減価償却費	60,300	60,300	0
消耗品費	77,915	32,714	45,201
印刷製本費	0	20,700	△ 20,700
光熱水料費	59,360	8,637	50,723
賃借料	411,381	66,358	345,023
保険料	35,240	1,312	33,928

租税公課	10,011	11,806	△ 1,795
事務用品費	70,191	10,312	59,879
広告宣伝費	115,000	115,000	0
支払手数料	18,700	21,900	△ 3,200
顧問費用	107,666	107,667	△ 1
会費	11,500	11,500	0
雑費	488,712	20,678	468,034
管理費計	3,704,703	3,933,701	△ 228,998
経常費用計	18,026,121	20,650,400	△ 2,624,279
評価損益等調整前当期経常増減額	3,745,929	739,924	3,006,005
当期経常増減額	3,745,929	739,924	3,006,005
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	3,745,929	739,924	3,006,005
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	3,673,929	667,924	3,006,005
一般正味財産期首残高	11,272,593	10,604,669	667,924
一般正味財産期末残高	14,946,522	11,272,593	3,673,929
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	14,946,522	11,272,593	3,673,929

## 監 査 報 告 書

一般社団法人 M-EMS 認証機構 定款に基づき、  
機構の事業報告、理事会活動報告（議事録）、収支計  
算書、貸借対照表及び、財産目録等の決算に関する書  
類に関して、令和4年度（第14期）一般社団法人  
M-EMS 認証機構の収支決算の会計処理内容等を監  
査したところ、監査した範囲においては適正と認めら  
れました。監査において事業運営に関しては、別紙「監  
査の所感」を監査実施資料として提示します。

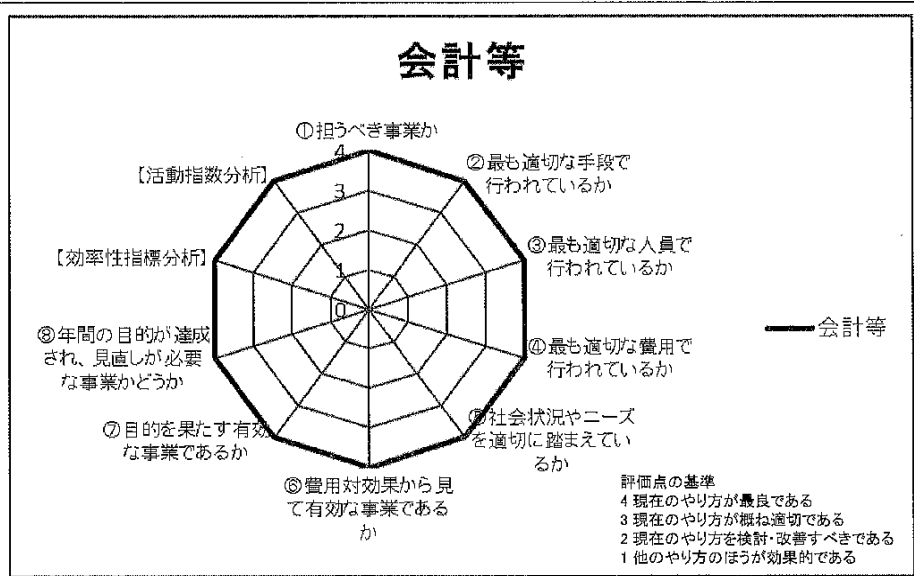
令和5年5月22日

監事

奥山哲也

別紙1 「監査の所感」

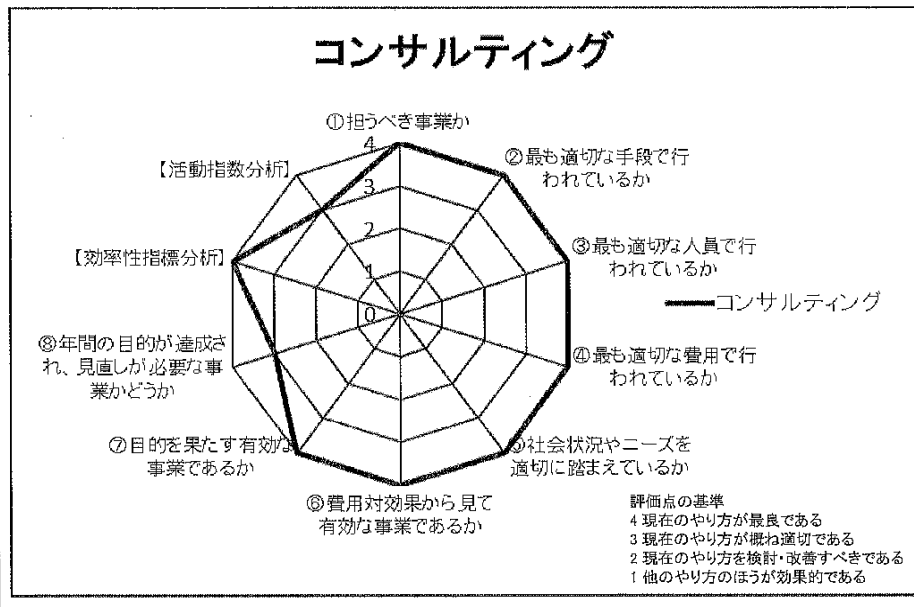
監査実施日：令和5年5月22日（10時～12時15分）



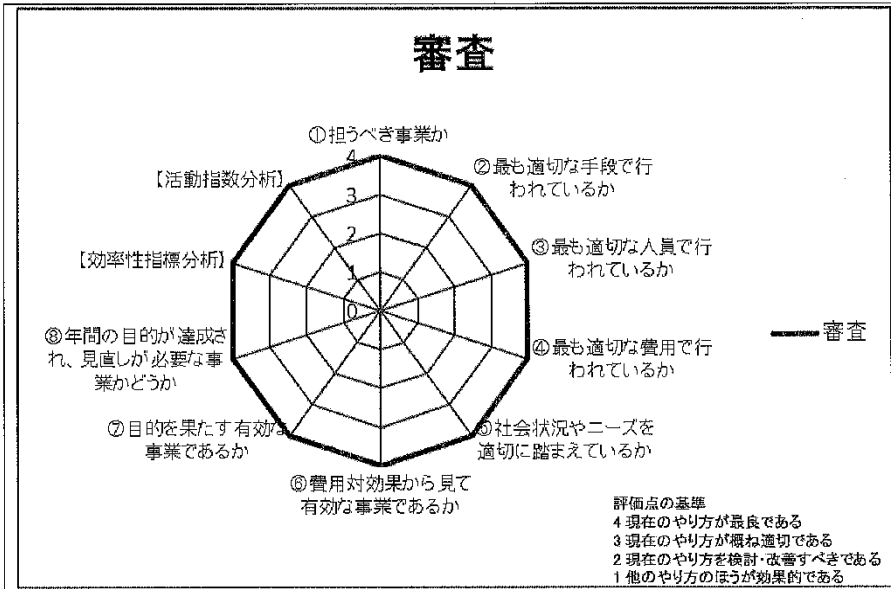
事業会計に対する所感まとめ

- 14期の収支は大幅に改善され健全経営に近づいたと評価します。
- 前期同様にコロナ禍の影響もあると思いますが、新規構築講座やコンサルティングが拡大できなかったことは15期以降の業務の課題と考えます。
- 新規顧客となる企業の開拓の取り組みには期待をします。
- 14期は、地方消費税も適正に処理され、スムーズに対応していることが確認できました。令和5年10月から実施されるインボイス制度（適格請求書等保存方式）への対応準備も確認できました。

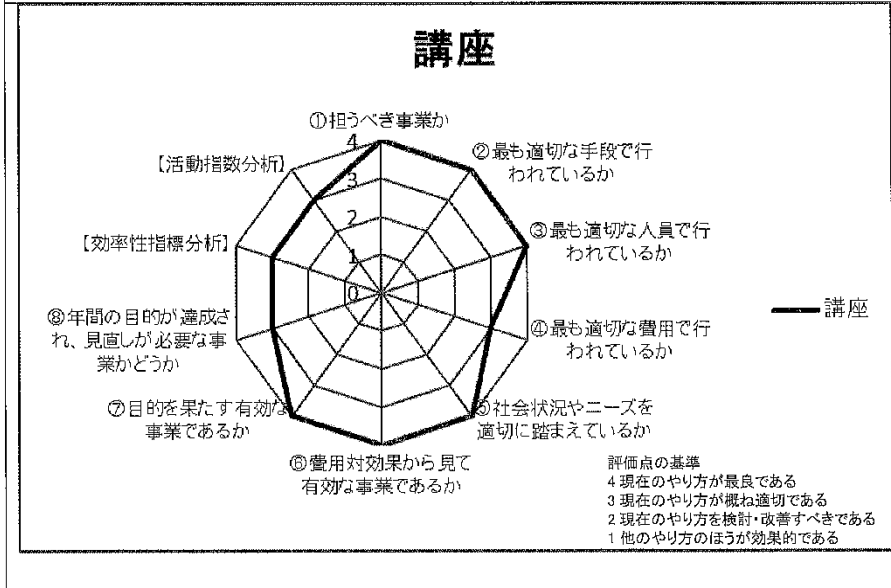
- 会計事務所との綿密な相談をするなど対応を心掛けていることを確認しました。
- 経費見直しの効果により、当期は適正な利益の確保ができ、健全経営に近づいたことを評価します。
- 14期は業務と経費を見直した結果、審査員と事務職員には業務の負担は増加したが、紙媒体の資料送付から電子媒体の送付を増やしたことで、通信運搬費が33%の削減効果が得られました。
- 14期は公益事業および収益事業が適切な運営ができています。



- 継続して、審査登録の辞退企業を出さないためにも、フォローアップコンサルティングを拡充するための施策の実施を期待します。
- 令和4年度は、コロナ禍の影響が残る中、コンサルティングの実施に苦慮されたことと推測します。
- 継続して、質の高いコンサルティングの実施を期待します。



- 令和4年度も適切な審査が行われたと判断します。
- 認証組織には効果のある審査が実施できたと判断します。
- 認証継続の組織数は年初比較でマイナス3.5%と減少していますが、コロナ禍と物価高騰の現状を鑑みると辞退数は抑えられたと判断します。
- 引き続き社会情勢に対応した審査を期待します。



- 構築講座は、事務所会議室を活用して講習会を実施することができた。また、新たな取り組みとして、取り組み企業からの要請により、企業に出向いた出張講座を実施できたことは評価に値します。
- つ・環境フェスタ、みえ環境フェアへの出展を行い、知名度の向上と合わせ社会貢献活動の実施ができたことを評価します。

全般（事業・理事会）

- 令和4年度は、毎月2回の定例・理事会が開催され、定款 第5章理事会 第40条（議事録）に従い議事録は理事が作成していました。
- 14期は、新型コロナウイルス感染症とロシアによるウクライナ侵攻による物価とインフラ利用費用の高騰により認証組織の経営状況への影響が大きいことが審査報告書などから読み取れました。このような状況下においても、個々審査員が企業の立場で考え、成果の見えるマネジメントシステムの運用に寄与したことが伺えます。
- 事業活動として社会のニーズに応えた事業が実施できたことを確認しました。

別紙2「監査の所感」

その他・自主業務・委託事業（グリーン活動ネットワーク）に関する監査分析結果  
 （普及活動／審査員維持研修／みえグリーン活動ネットワーク事務局事業）



●理事会議事録の記録を確認し、令和4年度も適切な審査が行われたと判断します。

（普及活動）

- つ・環境フェスタ、みえ環境フェアへの出展を行い、知名度の向上と合わせ社会貢献活動の実施ができたことを評価します。
- 令和4年度も普及講座の開催をしなかったが、普及講座はこれまで大きな成果が出ていなかったことから、見送りは妥当と判断します。

（審査員維持研修会）

- 令和4年度も、審査員の力量確保に有効な研修内容が実施できたと評価します。

（グリーン活動ネットワーク）

- グリーン活動ネットワークの会員サービスを考慮し、全国組織のグリーン購入ネットワークとの事務的な情報交換も行っていることを確認しました。進展されることを期待します。

M-EMS 認証機構 令和4年度監査（令和5年5月22日）監査実施者 奥山哲也（4/4）